

第 7 回 北大部局横断シンポジウム 実施報告書

2021 年 10 月 4 日(月)

ICReDD 部局担当: 庄司 淳, 井手 雄紀

■ シンポジウムの名称

第 7 回 北大部局横断シンポジウム-新領域創成に向けた若手連携の形成-

■ 開催期日

2021 年 10 月 1 日 (金) 9:00~18:00

■ 開催場所

WebEx(口頭), Remo(ポスター)によるオンライン開催

■ 主催・共催

主催：機能強化事業「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」

主管：遺伝子病制御研究所、電子科学研究所

共催(33 部局)：水産科学研究院、地球環境科学研究院、理学院、薬学研究院、農学研究院、先端生命科学研究院、大学院法学研究科、教育学研究院、保健科学研究院、工学研究院、医学研究院、歯学研究院、獣医学研究院、文学研究院、

情報科学研究所、北海道大学病院、低温科学研究所、触媒科学研究所、アイソトープ総合センター、量子集積エレクトロニクス研究センター、スラブ・ユーラシア研究センター、情報基盤センター、北極域研究センター、人獣共通感染症リサーチセンター、北方生物圏フィールド科学センター、生命科学院、総合化学院、医理工学院、総合博物館、化学反応創成研究拠点、数理・データサイエンス教育研究センター、URA ステーション、産学・地域協働推進機構

後援(9 スポンサー)：北海道大学部局横断型シンポジウム等開催経費助成、文部科学省共同利用・共同拠点事業、文部科学省「数理及びデータサイエンスに係る教育強化事業」、フォトエキサイトニクス研究拠点事業、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道高等学校理科学研究会、北海道青少年科学文化財団、国立研究開発法人日本医療研究開発機構

■ 事業の内容・成果

『部局横断シンポジウム』は、北海道大学内の若手研究者の交流と融合研究の創成を目的としています。今年度から本シンポジウムは、北大の機能強化事業「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」として実施しました。

■ 特別講演

本庶 佑（京都大学大学院医学研究科、2018 年ノーベル医学生理学賞受賞）

「がん免疫治療の新展開」

■ ICReDD 関連教員の受賞

第 7 回北海道大学部局横断シンポジウム研究助成採択

・ 庄司 淳，金賞「緑色発光希土類錯体の透明化と植物成長に与える影響の評価」

・ 北川 裕一，銀賞「発光性錯体の社会実装に向けて:計算科学と実験科学の連携による高輝度希土類発光体の開発」

・ 清水 洋平，銅賞「実験－計算－構造解析で挑む酵素模倣型高機能触媒の開発」

第 7 回北海道大学部局横断シンポジウムベストポスター賞(24 件/112 件)

・ 林 裕樹，「量子化学計算を指針とするジフルオロカルベンを伴う三成分環化反応の開発」

・ 岩佐 豪，「双極子近似を超えた光学応答理論開発と光 STM-TERS への応用」

■ ICREDD 関連教員の発表情報

アンビシャステュニアトラック准教授セッション 1(口頭発表)

- ・ 久保田 浩司, o_01 「物理的な力を駆動力とする有機合成反応の開発」

第 6 回北大・部局横断シンポジウム研究奨励賞受賞者発表（ポスター発表）

- ・ 庄司 淳, G_1 「赤色発光希土類錯体を用いた透明な波長変換資材による植物育成」

一般演題ポスター(ポスター発表)

- ・ 林 裕樹, P_1 「量子化学計算を指針とするジフルオロカルベンを伴う三成分環化反応の開発」

- ・ 永幡 裕, P_2 「漸近トラジェクトリから相空間の反応経路を求める」

- ・ 岩佐 豪, P_3 「双極子近似を超えた光学応答理論開発と光 STM-TERS への応用」

研究助成ポスター(ポスター発表)

- ・ 清水 洋平, K_8 「実験－計算－構造解析で挑む酵素模倣型高機能触媒の開発」

・北川 裕一, K_20「発光性錯体の社会実装に向けて:計算科学と実験科学の連携による高輝度希土類発光体の開発」

・庄司 淳, K_24「緑色発光希土類錯体の透明化と植物成長に与える影響の評価」

一般口演 物質科学セッション 2(口頭発表)

・Andrey Lyalin, o_29「Theoretical modeling of 2D borophene layers on metal supports」